

教育目標
 ひらこう世界へ
 のびようと
 つくろう夢を
 こえよう自分を

紙面から

- 新たな学校づくりプロジェクト 他 …… 1
- ひのっ子ががんばってます 他 …… 2
- 子ども包括支援センターみらいく 他 …… 3
- 学びのチャンスいろいろ …… 4

新たな学校づくりプロジェクト

～子どもの学びや育ちに適した学校施設のあり方を検討しています～ 問 庶務課(☎042-514-8698)

「新たな学校づくり」って、どのようなことを話し合っているの？

私たちにとって、学びが深まる学習スペースってどんなカタチがいいのか？先生や市民の皆さんと一緒に考えているんだって。

確かに一人1台のパソコンを使い始めて、僕たちの学習スタイルが変わってきたよね～。

そうだね。でも一人一人に適した学び方はたくさんあるけれど、校舎は昔から変わらないよね。教科書や勉強道具をしまうスペースも狭く感じるなあ…。

そうだ！実際に学校を利用している私たちも、これからの学校についてみんなで考えてみようよ！

3・4時間目「総合的な学習の時間」@日野一小/6年生



グループワーク

学校探検

「みんなにとっての学校とは何か？」あらためて一人一人が真剣に考えました。実際に学校を探検しながら学校の『お気に入り』や『ちょっと苦手』な場所をグループで話し合い、日野一小をアップデート(改善提案)しました。

放課後「委員会活動」@日野三中/図書委員



ワークシート

まとめ・発表

学校内において、自分たちにとって過ごしやすい居場所や、これからの新たな学校図書館についてディスカッションしました。未来思考でアイデアを書き出し、模型を何度も動かして最適な空間や配置はどこか検討を重ねました。

児童生徒の声

廊下は友達とぶつかりやすいから、信号やミラーを設置したいな(日野一小)

トイレは寒い暗いから苦手。便器や壁をカラフルな色にしたいな(日野一小)

図書室を学校の中心に配置することで、どの教室からもアクセスしやすくなるね(日野三中)

学校は笑顔で過ごす所、思い出をつくる場所(日野一小)

図書室が魅力的な場所であることを、もっと情報発信していこう！(日野三中)

ご意見を募集

令和5年8月から「新たな学校づくり・社会教育施設づくり検討委員会」を設置しました。大学や市立小中学校の先生方、地域で活動する市民の皆様から構成され、学習空間などをテーマとして検討を重ねています。ぜひ市民皆様のご意見をお聞かせください。

※右記二次元バーコードより意見を入力・送信することができます。※詳しくは日野市ホームページをご覧ください。

新たな学校づくり を検索

入力フォーム→



たくさんの意見ができました

幼稚園・小学校

ひのっこ作品展

開催

中学校

美術展・書初め展

令和6年1月、「ひのっこ作品展」は、イオンモール多摩平の森イオンホールA・Bで、「美術展」と「書初め展」は日野市民会館煉瓦ホール2階展示場で開催されました。昨年度、「ひのっこ作品展」はオンラインでの開催でしたが、本年度は、会場での開催が実現し、作品を直接鑑賞することができました。

市立幼稚園の園児の共同作品と市立小学校・中学校の児童・生徒の代表作品を展示した会場は、まるで美術館のようでした。子供の感性や創造力が表現された作品を鑑賞した来場者から「発想がすてき」「素晴らしい」という声が聞かれ、子供たちのつくることの喜びや表現する楽しさが伝わる機会となりました。

問 教育指導課(☎042-514-8728)



(ひのっこ作品展)



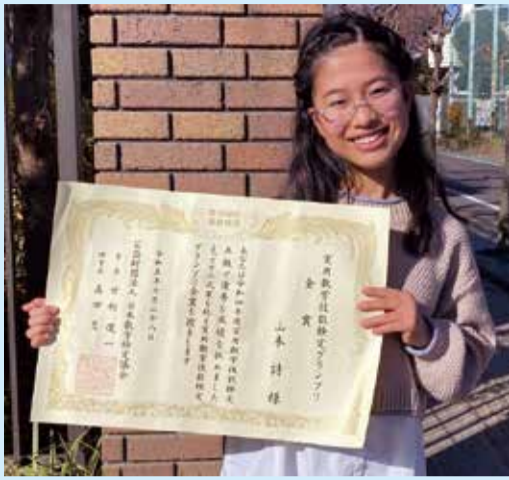
(美術展・書初め展)

ひのっ子ががんばっています



平山小学校

数検グランプリ 金賞 (個人賞)



6年生の山本 詩さんが「数検」グランプリで金賞を受賞しました。昨年度に数検を受験した33万5千人のうち成績優秀者20人に贈られている賞です。また、団体賞を平山小が、生涯学習功労賞を平山小地域学校協働活動コーディネーター根津美満子氏がそれぞれ受賞し、平山小地区がトリプル受賞となりました。

三沢中学校

ちよこつとボランティア(ちよこボ)



三沢中では「ちよこつとボランティア」という活動を行っています。生徒一人一人が地域の施設や公園などに出向き、お手伝いや清掃活動に取り組みます。自分達で活動場所や活動内容を決め、訪問先と連絡をとり、自主的に活動します。生徒の自己肯定感や自己有用感を高め、地域との連携を深めることが出来ればと考えています。

日野第四中学校

令和5年度中学生科学コンテスト



東京都の各中学校から約200チームが出場する中、銀賞(第5位)でした。11月25日(土)に行われた「Tokyoサイエンスフェア」にて表彰されました。

日野第一中学校

令和5年度 学校2020レガシー教育



日野二中では、藤本一平さん(フィールドホッケー)、二條実穂さん(車いすテニス)、三好南穂さん(女子バスケットボール)、日本体育大学の学生の方々(ダンス)、中村兼三さん(柔道)、東京女子体育大学の学生の方々(新体操)にご来校していただき講演、実技指導・交流を行っています。生徒たちにとって、充実した時間と機会になっています。

紫波第三中学校との交流会



日野市と姉妹都市である岩手県紫波町の紫波第三中学校との交流会を地域の中央公園で行われた「たきび祭」にて行いました。紫波三中の生徒が作ったお米を日野四中生と一緒に販売し、当日は200kg分準備していたお米があっという間に売り切れました。

教育指導課

TOKYO GLOBAL GATEWAYにすべての中学校が行っています。

令和5年9月から令和6年3月にかけて、市立中学校全8校の中学1年生が立川市にある体験型英語学習施設 TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS(以下TGG)を訪れています。

TGGでは、外国の空港・ホテル・病院などを模した体験エリアがあり、普段の授業とは違った環境の中で英語を使ったコミュニケーションを学ぶことができます。

参加した生徒からは「英語を話すことについて自信がついた。」「実際に使える英語を知ることができて良かった。」「外国の方とたくさんお話できて楽しかった。」「英語への関心が高まった。」などの感想がありました。

令和6年度も引き続き全市立中学校の中学1年生がTGGを訪問する予定です。



就学相談を受け付けています



令和7年4月の小学校または中学校への就学・進学に向けて、学習面や集団生活などで困り感があるお子様、発達上気になる様子や行動が見られるなどのお子様、適切な教育を受けることができる

にはどのような教育環境で学ぶのが望ましいのか、就学相談員が保護者の方々に必要な情報を提供し、丁寧な相談を進めていきます。

特別支援学校・特別支援学級・特別支援教室への入学、入級、入室をご検討の場合は、必ずご相談ください。

- 対 令和7年度小学校または中学校へ就学・進学を予定されているお子様の保護者の方
- 他 事前予約制
- 申 令和6年8月31日(土)まで、電話または、右記の二次元バーコードにて申込
- 問 日野市発達・教育支援センター「エール」内 発達・教育支援課(☎042-589-8877)



発達・教育支援課



みらいく

子ども包括支援センター



子ども家庭支援センター

5/27(月) OPEN!! (予定)

市役所の向かい、実践女子大学の芝生の隣の敷地に、「すべての子どもの健やかな成長を切れ目なく支援する子ども・家庭・地域の子育て機能の総合支援拠点」としてオープンします。

子育て関係部署の事務所機能に加え、「子育てひろば」や、新たな機能である「中高生世代スペース」、「子どもなんでも相談窓口」を設けるなど、妊娠期から18歳まで切れ目のない支援を実現します。

問 子ども家庭支援センター(☎042-599-6670)

3F 子育てひろば(6/24オープン予定)



乳幼児やその保護者の方が
ゆったりと過ごし、
遊んだり交流できる場所です。

開館日時: 金～水曜日 10:00～17:00
(木曜日、祝日、年末年始は休館)

NEW 中高生世代スペース (6/24オープン予定)

中高生世代の方が、本を読んだり、自習したり、
ゆったり過ごしたり…自由に過ごせるスペースです。

開館日時: 月～水、金曜日 11:00～20:00
土、日曜日 10:00～17:00
(木曜日、祝日、年末年始は休館)

2F 子ども家庭支援センター、 NEW 子どもなんでも相談窓口

子ども自身が一人1台の学習者用端末からご相談いただけます!
もちろん、電話やメールでの相談、保護者からの相談もOK!
迷ったらまずはご相談ください。



イメージキャラクター
「ぺたぺたさん」です!

実践女子大学生によるデザイン。ぺたぺたと
全ての人に寄り添い、共に歩む「みらいく」の
理念を表しています。

3つの色は、日の出、青空、夕焼けに由来し、「常
に変化する感情の移り変わり」を表しています。

1F 子育て課、保育課

広がっています、福祉教育ハートフルプロジェクト! ～障害のあるなしにかかわらず、誰にとってもやさしいまちを目指して～

福祉教育ハートフルプロジェクトは、市立小中学生を対象に「気付き」「意識変化」「行動」する土台を作る「ハートフルブック」を活用した授業を行ったり、障害当事者をはじめとする様々な方からお話を聞いたり、体験したりすることで、“多様性”や“違い”について考えるプロジェクトです。令和4年度に日野第五小学校で始めた福祉教育ハートフルプロジェクトのパートナー校は、今年度、日野第三小学校、日野第五小学校、日野第六小学校、日野第七小学校、旭が丘小学校の5校に拡大しています。

問 障害福祉課(☎042-514-8991)

新たな取り組み 特別支援学校の児童との交流

日野第七小学校では、八王子東特別支援学校4年生の児童と一緒に、日野中央公園のインクルーシブ遊具広場で交流しました。一緒に遊具で遊んだり、「もうじゅうがりゲーム」を楽しんだりしました。一緒に楽しい時間を過ごすことで、自然にお互いを知ることができる場となりました。



▲日野第五小学校での当事者の方からのお話を聞く様子

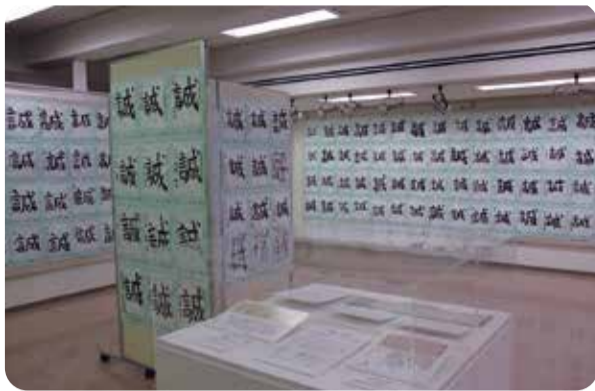
まず最初に学習者用端末を活用した福祉教育の教材である「ハートフルブック」を活用し、自分の幸せや友達の幸せという身近なところから、平等、公正などについて考える授業を行います。

その内容を踏まえた上で、障害当事者の方からお話を聞いたり、様々な体験などで交流したりすることで、自発的な気付きを得て、これからはこうしていこうという行動への意識につながっています。

障害福祉課

学びのチャンスいろいろ

第17回新選組書展を開催中



神明4丁目にある新選組のふるさと歴史館では現在、全国から応募していただいた書道作品を展示する「新選組書展」を開催

しています。毎年、新選組ゆかりの文字を課題にして、全国から作品を募集し、今年も多く作品が集まりました。大賞などの力作から、ユニークな作品まで、多種多様な書道の作品を展示しています。市内の小・中学生の作品も展示していますので、ぜひ、新選組のふるさと歴史館にお越しください。

第17回新選組書展

【会期】3月5日(火)~4月14日(日)9:30~17:00 (入館は16:30まで)

【休館日】月曜日(休日の場合は開館し、翌平日休館)

【入館料】大人200円、小中学生50円

【会場】新選組のふるさと歴史館(☎042-583-5100)

資料館に集う「資料の秘密」を紹介中



程久保にある日野市郷土資料館では、動物・植物、化石、昔の暮らしの道具など、日野市ゆかりの様々な資料を集め、大事に保存しています。「日野を教えてください」

には、どのようなものがあるのか、どのようにして集められてきたのかを紹介していますので、ぜひ郷土資料館に見に来てください。

日野を語る資料 ~未来へ託す収蔵品~

【会期】4月14日(日)まで 9:00~17:00

【休館日】月曜日(休日の場合は開館し、翌平日休館)

【入館料】無料

【会場】日野市郷土資料館(☎042-592-0981)

ふるさと文化財課

中学生と作家の交流事業2023 宇山佳佑さん講演会を開催!



令和5年11月5日、多摩平の森ふれあい館にて、中学生10名が会議を重ねて企画した講演会を開催しました。当日は、中学生自身が司会進行を務めました。

人気作家・宇山佳佑さんによるご講演のほか、中学生企画のコーナーでは、宇山さんの作品に関連したクイズや、宇山さんにいただいた最初の一文から、中学生が続きを考えて作成した小説の発表などを行いました。来場者アンケートでは、「中学生のすばらしい才能を感じました。」「作家さんの様々なことを聞くことができ、大変おもしろかったです。」など多くの好評の声をいただきました。講演会終了後に行った中学生と宇山さんの交流会では、小説づくりに関する様々な質問にお答えいただきました。☎中央図書館(☎042-586-0584)



ひのっ子シェフコンテスト開催

市内の小中学生が地場産食材を活用したメニューを考え、調理する料理コンテストが行われました。第17回となる今回は、26作品の応募の中から、一次選考で選ばれた5作品8人のひのっ子シェフが腕を振るい、おいしい料理を作りました。コンテストのメニューは、学校給食で提供されています。

当日の様子や受賞レシピは、日野市ホームページにて公開していますので、ぜひご覧ください! ☎中央公民館(☎042-581-7580)



金賞 「日野産ナムルのカラフルビビンバ」



▲二次元バーコード(市ホームページ)



算数大好きプロジェクト 「小学生土曜算数教室」を開催しました

令和5年度の「土曜算数教室」は、講師の元帝京大学客員教授 廣田敬一先生をお迎えし、4月から12月まで全10回開催しました。参加対象となった市立小学校6年生の児童約40名は、先生や友達の考えを聞き、試行錯誤しながら少し手応えのある問題の解決方法を発見することで、算数を学ぶ楽しさを体験することができました。

教育センター講堂にて開催したこの教室は、夢が丘小学校地域学校協働本部との連携により、多くのボランティアの方々と共に運営、実施しました。☎生涯学習課(☎042-514-8765)



生涯学習課